

先週感激した3つの出来事

1 お年寄りを助けた2人の男子

先週木曜日に、吉敷地区の環境づくり協議会がありました。

その会の後、役員のお一人である赤田の廣田さんから大変うれしい話を伺いました。

木曜日の下校時、4時過ぎに、交流センター先の三叉路交差点で、お年寄りが自転車で横断しようとした際、縁石に乗り上げて横転されたそうです。車を運転していた廣田さんが助けに出ようと思ったら、高学年の男子二人がすぐに駆け寄って助けたということです。

廣田さんは大変感激されて、是非、学校でも褒めてあげてほしいと言われました。菊川生徒指導主任から話があると思いますが、各学級でもこの話を児童に知らせて、褒め、啓発しておいて下さい。

同日午前中のある会議でも、良城小の子どもの挨拶や道路横断後のお辞儀についての話が出ました。

金曜日の6年生を送る会での児童の姿も大変素晴らしかったです。

この様な姿にさせていただいている先生方の日々の指導に心から感謝しています。

とはいえ、挨拶一つにしても、地域の方から挨拶しても全く顔色一つ変えずに通る過ぎる子もいるようです。朝、私が声をかけても返事をしない児童もいます。

新しい学級目標の設定も進んでいます。

「温かい言葉」「自ら」がこれからの本校の大きな課題です。今の学級の経営においても、さらに成長させて、次の学年に引き継ぐよう、引き続き、よろしくお願ひします。

2 地域と連携した活動の胎動

環境づくり協議会では、来年度の環境部の活動について協議されました。環境部では、なんと私が来年度の新規事業「吉敷川学習良城小連携企画」の班長になっています。環境部を始めとして、地域を活性化するための地域企画が地元の小学校と連携し

て行うという発想が地域に生まれ始めたことは、大変素晴らしいと思います。まさに、「学校を核とした地域づくり」の胎動です。

鴻南中の昨年度のPTA副会長の平戸さんとともに班長に指名され、これから学校地域連携の企画を考えていくようになりました。

環境部長さんからは、「この企画は地域の取組なので、学校だけでやってしまわないようお願いいたします。地域の環境部員も何でも手伝うので言って下さい。」と言われていました。早速、吉敷橋下流の魚道の授業活動の話も伺いました。吉敷川を対象とした環境学習は、現在、5学年の1学期に取り組まれているので、この学習に関連した活動を企画するようになると思いますが、地域の協力を得ながら進めていきたいと思っています。とてもありがたいお話です。

3 P T A 委員の立候補者がなかり増加

土曜日にP T Aの全委員会が行われました。現在、来年度の役員を選定していますが、専門部役員を選出では立候補者が昨年度に比べてかなり多かった(90人→150人)そうです。

今、P T A活動は全国的に大変厳しい状況が話題となっていますが、本校P T Aは、皆さん大変楽しそうにされていると感じます。吉永前会長さん、そして本年度からの林会長さん以下の執行部の皆さんの活動の素晴らしさが、今の雰囲気を作っているのだと感謝しています。

新教育目標は、「家庭・地域とともに育成する」としています。家庭との一層の連携を進めていけるものと確信しています。

おまけ 今年は大丈夫か

うれしついでに。我がレノファもサンフレッチェも初戦に勝ちました。本校はリョノファ山口としてレノファを応援していますのでうれしい限りです。今年楽しくてたまらない日々が過ごせそうです。